

【受賞者の概要】

〔正賞 社会文化部門〕

たかはし・むつお

1. 氏名 高橋 睦郎
2. 年齢 84歳 ※2022年11月3日時点
3. 肩書 詩人
4. 住所 神奈川県逗子市（北九州市出身）



【受賞理由】

氏は、少年時代に詩と出会い、以来、創作に励む中から数多くの賞を受賞してきた日本現代詩を代表する詩人である。また、詩作とともに、俳句、短歌、小説など創作活動は広範に及び、いずれも高く評価され、その業績は顕著である。

ギリシャ神話や漢詩にも造詣が深く、詩人の極北に位置する存在でありながら、一般の理解を拒絶するところが全くない、稀有な存在である。その作品は中国でも翻訳され、詩の精神世界の重厚さと深遠さが特徴とされている。

氏は、文芸の道一筋にあって、その原点を故郷・北九州に見い出し、九州を離れた今もなお、九州の詩人と交流を続けるなど関わりを深めている。さらに、詩の新たな領域を開拓する旺盛な創作意欲と着想の豊かさに敬服するものである。

【主な受賞歴】

1982年	『王国の構造』で藤村記念歷程賞受賞
1987年	句歌集『稽古飲食』で読売文学賞受賞
1988年	詩集『兎の庭』で高見順賞受賞
1993年	詩集『旅の絵』で現代詩花椿賞受賞
1996年	詩集『姉の島』で詩歌文学館賞受賞
2007年	織部賞受賞
2013年	『和音羅読－詩人が読むラテン文学』で鮎川信夫賞。句集『十年』で蛇笏賞受賞
2017年	これまでの文化芸術活動の業績により、文化功労者、日本芸術院会員に選出
2022年	『深きより 二十七の聲』で毎日芸術賞受賞
2022年	第1回シェイマス・ヒーニー 日本賞受賞